

CSR推進上の重点課題



真に強い組織の確立



背景と課題認識

事業のグローバル化が加速するなか、企業には各国・地域の文化や慣習などを含む基本的人権を尊重したうえで、従業員が安全かつ健康に働ける職場環境の整備や、公正な労働条件の提供、公平・公正な人事処遇を実現するなど、ディーセント・ワーク（働きがいのある人間らしい仕事）を推進することが求められています。

一方、企業間の競争が激化し、先進国を中心に労働人口の減少が中長期的に見込まれる状況下においては、多様な人材が活躍できる環境整備や、グローバル人材の育成も重要な経営課題となっています。

めざす姿

グローバル市場で競争を勝ち抜き、持続的な成長を実現するためには、お客様や社会への価値提供を担う従業員の成長が不可欠です。

矢崎グループは、経営基本方針に掲げる「人を大切にし、個人／チームワーク能力を最大限に引き出せる企業風土を育て、個人の夢に貢献する」の実現が企業の成長に結びつくという考えのもと、すべての従業員が能力を十分に発揮し、多様な働き方に適応した働きがいのある職場環境を整備し、組織力と生産性の継続的な向上をめざします。

また、ダイバーシティの推進に加え、グローバルに活躍できる人材の育成や高い技術・スキルを持った優秀な人材の確保にも注力します。

